

科目名	情報処理 Information Processing	科目コード	51517
-----	--------------------------------	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・5年（プログラム2年）
担当教員	田中 一浩・宮崎 靖大（環境都市工学科）
区分・単位数	学修単位科目・必履修・2単位
開講時期・時間数	後期, 30時間【内訳：講義30】
教科書	なし
補助教材	配布資料
参考書	中村理一郎・伊藤惇・佐藤次男, FORTRAN 基礎編-文法と理工学問題, 森北出版

【A. 科目の概要と関連性】

確率や統計に関するさまざまな数値解析法に触れ、FORTRAN および C を用いて実際にプログラミングと計算を行い、その結果に関して考察を行う。

○関連する科目：プログラミングの基礎(1)(2)（本科2年履修）,
シミュレーション工学（次年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(C)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①FORTRAN プログラミングについて理解する	20%	(d2)
②FORTRAN プログラミングを用いた数学的手法について理解する	15%	(c1),(d2)
③FORTRAN プログラミングを用いた工学計算について理解する	15%	(d2)
④C 言語を用いたプログラミングについて理解する	20%	(d2)
⑤C 言語を用いたプログラムを活用し、数学的手法について理解する	15%	(c1),(d2)
⑥C 言語を用いたプログラムを活用し、工学計算について理解する	15%	(d2)

【C. 履修上の注意】

基本的に端末室にてプログラミングを行う授業である。個々の独創的なプログラム作成が期待される。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- レポート（100%）

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	課題
1	プログラミングにおける数学	プログラムの作成
2	FORTRAN の数学的応用 1	プログラムの作成
3	FORTRAN の数学的応用 2	プログラムの作成
4	FORTRAN の数学的応用 3	プログラムの作成
5	FORTRAN の工学的応用 1	プログラムの作成
6	FORTRAN の工学的応用 2	プログラムの作成
7	FORTRAN の工学的応用 3	プログラムの作成
8	C 言語を用いたプログラミングの基礎 1	プログラムの作成
9	C 言語を用いたプログラミングの基礎 2	プログラムの作成
10	C 言語を用いたプログラミングの数学的応用 1	プログラムの作成
11	C 言語を用いたプログラミングの数学的応用 2	プログラムの作成
12	C 言語を用いたプログラミングの数学的応用 3	プログラムの作成
13	C 言語を用いたプログラミングの工学的応用 1	プログラムの作成
14	C 言語を用いたプログラミングの工学的応用 2	プログラムの作成
—		
15	C 言語を用いたプログラミングの工学的応用 3	プログラムの作成